



タイルが曲線に
カットできるよ!

▼床タイルに使われることの多い300角タイルにモザイクタイルを象嵌したリングソーアート作品。



リングソー

通常のカッターはタイルを固定し、刃をスライドさせるため、直線しかカットできませんが、リングソーは「**回転するぐるりと一周したリング状の刃が、ぐるぐる回りながら切る**」という構造になっています。刃に向けてタイルを動かしながらカットするため、曲線に沿った加工が可能です。



通常のカッター
円盤状の刃が回転する
カッターを前後に動かして
直線を切るための機械。

▶ウォータージェット
によるカット

タイルを曲線にカットするのに、加圧した水の力でカットするウォータージェットという機械もあります。とても精密にカットできるため、目地を必要としない、いわゆる象嵌タイルと言われるような、細工の細かい技法に用いられます。寸法精度が高く、仕上がりが美しいのですが、機械によるカットなのでCADデータが必須です。リングソーなら、刃厚分の誤差が生じるため目地は必要ですが、フリーハンドで描かれた線を自由にカットすることができるので時間やコスト削減にもつながります。



タイルにカットしたい線を描く。



だまかに直線でカットする。



線に沿ってタイルを動かしながらリングソーでカットする。



カットしたものを、並べて全体のバランスを見る。

社員の紹介コーナー



名前 津村 知香子
所属 大阪営業所
趣味 植物の世話、編み物
好きなタイル シープリース

本社での入社以来、営業業務から始まり、企画にてプレゼンテーション資料作成、展示会準備、カタログ制作、貿易書類作成などに携わり、大阪へ異動してからは、更に営業、と、本当に幅広く様々な業務を経験してきました。これは、業務が細分化された大企業ではないメリットだと思っています。知らなかったことを知ることはとても面白く、そのような環境を有り難く思っています。

ここ数年、植物の世話をするようになりました。何が良かったのかは不明ですが、以前まで一度も花をつけた事の無かったサボテンが去年は3つ、今年は10個も大きな花を咲かせてくれました!

My best shot!



ランタナです。



毎年花を咲かせてくれます。



先月ご紹介しました植物や造園に関する「ガーデン・フェスティバル」とは違い、今回の展示会は、最先端の建築テクノロジーやビルディングデザイン製品、その他建築に関わる製品・サービス等を提供する企業が出展する展示会です。また、それらについての情報交換が行われる場でもあります。

シンガポールの有名なホテルマリーナ・ベイ・サンズに隣接する、サンズ エキスポ & コンベンションセンターにて、建築、インテリア、ビル業界の展示会「BEX Asia 2016」が、9月7日～9日まで開催され、弊社も昨年引き続き、2度目の出展となりました。



シンガポールから見た未来。

今回は、昨年より小さめのブースではありましたが、スペース全体を使い、タイルだけではなく、陶製照明・手水鉢など、和の装いを醸し出す小物も合わせて展示し、和の空間を演出しました。

国土が東京都のおよそ1/3と言われるシンガポールでは、国民の80%以上が国営の分譲マンションに住んでいます。スイミングプール付の建物も多く、弊社の輸出履歴を見ても、プールタイルを中心に、引合いや発注を多くいただきました。また、建設中のチャンギ国際空港ターミナル4へは、国産インテリアタイルを納めています。

今回もインテリアタイルの市場を開拓すべく、壁・床用の日本製タイルについてさらに強化し展示しました。日本特有の繊細なデザインを気に入ってくれるお客様は多く、きめ細かいサービスと合わせれば可能性は大きいと感じました。

シンガポール自体は小さな国ですが、近隣のアジア諸国への影響は多大で、アジアという大きな市場に日本のタイルをアピールできたことは、とても有意義だったと思います。アテンド社員談



ゆうやく 釉薬

タイルは、大きく「施釉タイル(タイル表面に釉薬が施されたタイル)」と「無釉タイル(釉薬が施されていないタイル)」に分けることができます。無釉タイルが素地そのものの色になるのに対し、施釉タイルは表面に施す「釉薬(うわぐすり)」がタイルの色を作ります。

★ 釉薬って何?

釉薬(ゆうやく)は「うわぐすり」とも呼ばれます。無釉タイルでは表現することのできない、色・色ムラ・ツヤなど、**光沢や味わいを出す**ほか、コーティングすることで水の**吸水性**を防いだり、割れにくくしたり、汚れを付きにくくするといった**清掃性**に優れた実用性も兼ね備えています。

★ どのように作られているの?



釉薬の調合はとても繊細な作業です。希望通りの色を作ることは、大変難しく何度も微調整を行いながら、決定していきます。

サンプル制作



まずは少量で。



原料を計ります。



ボールミルにアルミナの玉と水を入れます。



半日かけてミルを回転させることで、玉の摩擦により、細かく粉碎して比重の違う、水と鉱物をなじませます。



釉薬の完成。



スプレーで吹き付けます。

荷口生産



大きな容器で。



原料を計ります。



ボールミルにアルミナの玉と水を入れます。



半日かけてミルを回転させることで、玉の摩擦により、細かく粉碎して比重の違う、水と鉱物をなじませます。



釉薬の完成。



スプレーで吹き付けます。

★ どんな種類があるの?

釉薬には様々な種類があり、区分の仕方もそれぞれです。材料名や性質、焼成方法や温度によってなど、様々な区分方法があります。以下の区分に限らず、いくつかの釉薬を組み合わせたり、調合の具合により全く違う、バリエーション豊かな釉薬が作られています。



ガラス釉
ガラスの粉の入った釉薬。低温で溶けるため、鮮やかな色が出せる。



透明釉
無色透明に仕上がる。素地とよく馴染み、下地が透けて見える。



貫入釉
ガラス釉の中でも貫入が入ったもの。
※貫入(かんにゅう):素地と釉(うわぐすり)の膨張率の差などによって釉に細かいひびの入った状態。



マット釉
溶けきれない結晶によって不透明になる。



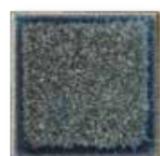
ブライツ釉
光沢のある釉薬。



窯変釉
釉薬の成分が非晶質の状態、窯の温度によって変化したもの。



ラスター釉
光彩の光ある釉薬。



結晶釉
結晶がはっきり目視できる釉薬。

★ 釉薬は何からできてるの?



※粘土の成分は、主にアルミナ+長石+シリカからできています。(接着成分) (ガラスの素)

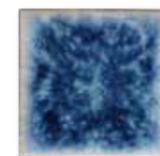
釉薬と素地粘土の成分が似ているからうまく一体化できるんだね。

★ 釉薬を掛ける回数、面状での色々な違いを見てみよう!

種類の異なる釉薬を重ねた場合。



1度掛け



2度掛け



3度掛け

同じ釉薬を凸面に施した場合。



フラット面



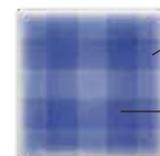
凸面

釉薬が流れて、凸部分の下地の色が透けて見える。

同じ釉薬を凹面に施した場合。



フラット面



凹面

少し色の濃い部分が凹みになっている

さらに濃い部分はより深い凹みになっている

釉薬は、その種類の組み合わせだけでなく、素地の面状との相性や、焼成温度、成分による化学変化の偶然の効果などで、無限に広がるんだね。

へえ〜! 深みが増すねえ。